

# 生きがい

第 15 号

発行

公益社団法人  
栃木市シルバー人材センター  
広報委員会

平成29年9月15日



〈学童保育支援員補助業務〉

## 理事長就任にあたって



理事長  
野尻 孝

去る六月二十一日の理事会において理事長に選任されました。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

私たちの栃木シルバー人材センターの平成二十八年度の事業収益は、約五億千四百万円、仕事の受託件数は、一万件を超えています。これは、県内では宇都宮に次ぐ実績であります。また、今年度から新たな五ヶ年計画「第三次再編基本計画」に取り組んでおります。この基本計画は、平成三十二年度に予定されているセンター本部の移転計画、事業体制の在り方などと共に、会員の皆様の安定した業務を得るための体制強化と就業機会の拡大及び増収対策を図るものです。

この基本計画を推進するにあたって、次の二つを重点実施項目として取り組んでいきたいと思っております。

一つは、「会員の責任による事故防止対策」です。仕事にかかわる物損事故や傷害事故、人身事故や交通事故、そして、お客様からのクレームなど多種多様ですが、どれをとってもシルバー人材センターの信頼と信用にかかわることでもあります。

もう一つは、「お客様の満足度向上にむけての対策」です。例えば、仕事をを行うに先立ってのお客様への挨拶、仕事の内容確認、終わった時の終了確認と終了挨拶は、可能な限り行ってください。「おはようございます」「ありがとうございます」「おはようございます」の挨拶の一言を大切にしてください。そして、仕事の結果はシルバー人材センターの信用となります。

シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」を理念としています。さまざまな課題を私たち一人ひとりが共有し、互いに助け合いながら、自主的に活動・実行し、お客様から信頼され、信用されるシルバー人材センターにしたいと思っております。

併せて、会員の皆様「健康第一」を旨として、頑張つて行くようではありませんか。

事務局だより

平成29年度定時総会

6月21日、栃木市保健福祉センターで定時総会が開催され、当日の会員総数838名の内、出席会員数643名（出席99名、委任状544名）で会議が成立し、来賓として鈴木市長及び海老原議長、藤田保健福祉部長、首長地域包括ケア推進課長の出席を賜りました。

はじめに、理事長、来賓挨拶のあと、会員表彰として特に功労等のあつた方として10年表彰32名の方が表彰され、続いて15年表彰18名の方が表彰されました。続いて、役員、職員が表彰されました。

続いて議長に須永氏が選出され、監査報告、次いで平成28年度収支補正予算、事業報告、平成29年度事業計画、収支予算の報告が行われました。

その後、平成28年度決算、定款の変更、役員の選任について

議案が提案され、審議・採決の結果、全議案とも原案どおり可決されました。

公益社団法人としてシルバー人材センターは、一層の社会的責任と透明性の向上を、また、国の施策で「一億総活躍社会」としては、高齢者にも活躍の場を求められております。

このようなことから、シルバー人材センターの役割が益々重要となつてきております。新たな分野としての学童保育、介護事業などの受注増など、皆様の活躍の場が広がり、市民のニーズに対応した「きめ細やかな、顧客満足度の高い」シルバー事業の充実、発展に向けて、的確な対応をしていくとともに、機能の強化充実や活性化に取り組んでまいります。会員皆様の更なるご支援、ご協力をお願いいたします。



〈海老原議長〉



〈栃木市長〉



〈大塚前理事長〉



〈15年表彰者代表 大越徳右衛門氏〉



〈10年表彰者代表 新村信一氏〉



〈表彰者〉

## 新役員について

平成29年度定時総会において、新たに理事15名、監事2名の役員選任が承認され、同日開催の理事会において、理事長、副理事長、専務理事が選定されました。今後2年間当センターの運営を執行してまいりますので皆様のご協力をお願いいたします。

### 新役員名簿

No	役職名	氏 名	住 所	選出区分
1	理事長	野 尻 孝 <small>の じり たかし</small>	栃木市沼和田町	栃 木
2	副理事長	大 島 治 <small>おお しま おさむ</small>	栃木市岩舟町古江	岩 舟
3	専務理事	青 木 康 弘 <small>あお き やす ひろ</small>	栃木市都賀町大柿	事務局長 (兼 務)
4	理 事	富 田 晃 <small>とみ た あきら</small>	栃木市片柳町1丁目	栃 木
5	理 事	板 倉 一 郎 <small>いた くら いち ろう</small>	栃木市宮町	栃 木
6	理 事	富 島 昭 子 <small>とみ しま あき こ</small>	栃木市柳橋町	栃 木
7	理 事	小 野 照 雄 <small>お の てる お</small>	栃木市藤岡町赤麻	藤 岡
8	理 事	田 中 仁 <small>た なか ひとし</small>	栃木市藤岡町藤岡	藤 岡
9	理 事	大 塚 紀 通 <small>おお つか のり みち</small>	栃木市都賀町原宿	都 賀
10	理 事	熊 倉 喜 義 <small>くま くら き よし</small>	栃木市都賀町大柿	都 賀
11	理 事	谷 川 克 雄 <small>たに がわ かつ お</small>	栃木市大平町西水代	大 平
12	理 事	福 田 武 吉 <small>ふく だ たけ よし</small>	栃木市大平町西水代	大 平
13	理 事	嶋 田 安 治 <small>しま だ やす はる</small>	栃木市西方町本郷	西 方
14	理 事	舘 野 榮 <small>たて の さかえ</small>	栃木市岩舟町静和	岩 舟
15	理 事	藤 田 正 人 <small>ふじ た まさ と</small>	栃木市万町	行 政
16	監 事	菊 池 昭 一 <small>きく ち しょう いち</small>	栃木市大平町新	大 平
17	監 事	青 木 保 則 <small>あお き やす のり</small>	栃木市都賀町原宿	有識者 (税理士)

### シルバー人材センターへの 支援要請活動

7月31日、野尻理事長及び大島副理事長、青木専務理事兼事務局長が市役所を訪問し、鈴木市長に対し「シルバー事業の更なる推進のため、シルバー人材センターへの補助金の確保や公共事業の発注増及び拡大など、市の支援、協力を強く要請する」旨の要望書を提出し、支援活動に取り組みました。

また、海老原市議会議長、赤堀教育長に対しても同様の要請を行いました。



〈市長への要請〉

## 事務局構成

平成二十九年度より、センター事務局が新体制になりました。よろしく願います。

### 栃木センター

事務局長 青木 康弘  
総務課長 篠原 裕子  
嘱託職員 瀬下 博子

次長兼業務課長 田坂 聖

業務課主任 矢口 明美

嘱託職員 小堀 安正

嘱託職員 藤澤 文雄

嘱託職員 飯田 稔

### 南部事業所

所長 吉澤 千枝子

主幹 鈴木 繁雄

主任 永島 美智子

### 北部事業所

所長 阿部 千恵子

嘱託職員 川久保 礼子

嘱託職員 荒木 由和

- ・ 予算、決算
- ・ 法人業務
- ・ 総会、理事会等の庶務
- ・ センター運営事務及び経理
- ・ 会員の入退会 など

- ・ 事業計画、報告
- ・ 仕事の開拓、受注、見積、契約
- ・ 仕事の提供及び発注者、会員との連絡調整
- ・ 資材、道具の整備、貸出
- ・ 仕事の状況確認及び就業管理
- ・ 会員の知識、技能講習（研修）
- ・ 安全、適正就業推進
- ・ 事故防止研修
- ・ 福祉、家事援助事業

## 各委員会委員について

定時総会において、役員改選となりましたが、それに基づいて、各委員会委員のみなさんも改選となりました。

委員会は6つの委員会となります。(地域活動委員会は兼務) 会員による自主・自立・共働・共助を理念として、今後2年間、新委員で活動してまいります。

### 各委員会名簿

■委員長 ■副委員長

(任期 H29.6.21定時総会～H31.定時総会)

委員会名	栃木センター		北部事業所		南部事業所	
	栃木地区	大平地区	都賀地区	西方地区	藤岡地区	岩舟地区
就業開拓委員会	板倉 一郎	福田 武吉	熊倉 喜義	藤平 秀雄	阿部 富吉	浅見 好男
	早乙女 直	田中 健次	久我 義夫	石川 志郎	安原 正義	渡辺 昌夫
総務委員会 (地域活動委員会)	富田 晃	高橋 功	大塚 紀通	三田 幸夫	小野 照雄	中島 幸雄
	小井沼 要	石川 吉一	軽部 安男	岩野 正二	町田 耕一	堀内 晴雄
広報委員会	須永 良一	谷川 克雄	佐藤銀次郎	小川 清	田中 仁	江部のぶ子
	神山 益子	多田 滋			亀下 清	
女性委員会	富島 昭子		大沢 榮子	引地 芳子	大久保悦子	市村 博子
	紺野美智子		黒須 恵子	柏崎 泰子	佐々木陽子	荒川智恵子
	萩野谷美恵子					
安全・適正就業委員会	高田 昌夫	柴田 美夫	大塚 一男	嶋田 安治	石崎 高德	館野 榮
	大坪 邦夫	吉田 四郎	森田 弘	荒木 和正	前田 貞代	武内 正吉
				石川 福蔵		中山 彦三



大平地区互助会長  
成瀬 富美男

イベントの企画を通して

会員互助会だより

私がセンターの会員になって、早八年になろうとしている。五年前に役員を仰せつかり現在大平の会長として二期目に入った。役員の成り手はこの組織においてもいないのが現状で、役員を長く務めると「好きでやっている。」と言う人がいる。そういう事を言う人に限って役員を依頼すると断る。しかし誰かがやらねば組織は成り立たない。私は現役のころからイベントを企画するのが好きである。センター全体のイベントとして毎年恒例となった「カラオケ交流大会」の企画と司会(ナレーション)を第二回から五年担当させて頂いた。同じくグラウンド・ゴルフ交流大会でも企画から司会進行を継続している。とにかくこういったイベントの企画を立てたり、実行することを楽しんでいる。楽しくやらねばこの世はつまらないでないか。たとえ人が「あの人はもの好きなんだな!」と言われても。

## 栃木地区

## 「良かった」をさがして



会員

長井 公子

何十年も前の事です。テレビ

アニメで、主人公の女の子が辛い境遇にありながら、小さな「良かった！」をさがして明るく元気に周りの人たちをも幸せにしていくと言うような物語がありました。タイトルも主人公の名前も忘れてしまったのですが「良かったさがし」のことは度々思い出します。

・〇〇さんに久しぶりにお会いした。お元気そうだった。良かった。

・〇〇さんに頂いた、本当に小さかった夏椿が今年は真珠のようなつぼみをたくさんつけた。スゴイ！

・植えた覚えはないのに庭にネジバナが咲いていた。ラッキー。

・夕食、美味しかった。幸せ！

・ぼぼ（ペットのワンちゃん）最高！喋れないけどお話し出来る気がする。

・窓を拭いたらさっぱりした。気持ち良い。良かった！

等々、たわいのないことですが、どこにでもあるような「良かった」や「小さな幸せ」が、不思議なことについての間にか心をホッコリさせてくれるのです。

私は今「歌麿館」で仕事をさせて頂いています。歌麿館には結構広い地域から、お客様がいっぱいいます。中には、美術や歴史、多方面の文化に詳しい方もいらつしやつて、いろいろな教えて頂くこともあります。

「良かった」です。そして、お客様が笑顔で帰られる時、「来て良かった」「また来ます」と言つて下さる時、とても大きな「良かった」を頂きます。ありがたいことです。

世界情勢や日本の行く末、異常気象等、不安も一杯な今日の頃です。せめて、小さな「良かった」や「幸せ」を沢山見つけていきたいと思えます。

## 仕事は生きがい



会員

高橋 民夫

昭和三九年以来、五一年間の

長期にわたり第二・第三の職場で働き続け、昨年四月、仕事にピリオドを打ち、趣味の釣り（鮎釣り）や自治会の活動に専念しようと思えました。鮎釣りシーズンの六月から十月中旬までの数か月間は何とか、生活に、張りがあったものの、シーズンオフともなると、やることもなくなり、家でゴロゴロしているか、テレビとにらめつこの退屈な日々が続ぎ、気力体力の減退に陥つてしまいました。元気に仕事をしていた頃が懐かしく思ひだされます。何か仕事をしなくてはと思いつつ、定期検診の都度、掛かり付けの医者より、健康管理の観点から何か仕事を勧められていたこともあり、知人の勧めで今年三月、シルバー人材センターに入会したのでした。

入会後早々に、「さくら祭り」の駐車場誘導」・「市広報紙の

仕分け作業」・「福祉施設の送迎車の運転等」の仕事を紹介され、今では、送迎車の運転と、広報紙の仕分け作業の仕事をやらせて貰っています。

シルバーでの仕事を始めて、まだ三か月半ですが、毎日充実した仕事と充実した日々を送っています。昨年一年間無駄な生活を過ごしたことを後悔しています。

シルバー人材センターの職員さんや仕分けの仕事仲間と出会えたことの楽しさや嬉しさ、更に、福祉施設のスタッフとその仲間達との触れ合いは、私の生きがいであり又ストレス解消の場でもあります。

これからも体を大切にするとともに、関係スタッフさんとの仕事仲間との信頼関係を深めつつ、事故のないよう頑張つて仕事に励みたいと思えます。



## 藤岡地区

## 山歩きで思ったこと



会員

日高 辰雄

私は今年の二月初旬から三叡山の峰渡りを始めました。動機は特にならません。自分の体力向上になると思い、シルバーセンターの仕事がない日はほとんどトライしました。三叡山の山体は南北に連なり、ピークが三か所あります。南部のピークは三叡神社奥の院の所、中央部のピークが中岳(二百十メートル)、北部のピークは青竜ヶ岳(二百二十九メートル)最高峰です。私の好きなルートは三叡山南口広場から最初のピーク、神社の奥の院まで続く急な石段を直登するコースです。この山の南のピークから中岳を超えて北部の青竜ヶ岳までの峰渡り、早足で往復すると寒中でも大汗が出ます。それぞれのピークに立って山の東方、南方を見渡すと南部事業所の領域がすばらしく広がって、手に取る様な感覚に



〈三叡山〉

何度もなりました。

折しも山歩きを始めた頃に、私と同級生の方が今年三月エントで南部事業所を去ることを事前に聞きました。急な話で非常にショックを受けました。正直、この頃から自分自身もそろそろ潮時、切れ目時かと考えはじめ、峰渡りの道は私にとつて歩くたびに迷い道となりまして。それでも自分なりに考えて決めました。私と同級生でベテランの職員が事務所を去ると栃木市シルバー人材センター藤岡事業所時代から活躍している多

くの会員の様子を知る人がほとんどいないことになりました。私がかつて一年余り事務所内の業務を担当した時期もありました。私がシルバー会員として残れば多少なりとも役に立てることもあろうかと思いい、現在に至っています。以上はたてまえで、本音を言うと同年齢の現東京都知事、今でも有名ですが、更にも上の名優を目指す草刈氏の生き様を見て、年金の山など振擽される所に埋没している時ではないことを悟りました。

終わりにあたり、会員諸兄に申し上げます。今後二年の内に平成が終わります。次の時代に吹く風は温かい風ではありません。今のうちから来たるべき新時代への危険予知をしましょう。

## 「私の楽しみ」



会員

須藤 義範

今日この頃は、年のせいか仕事をやる気がなくて、どうしたのかなと考えてしまい、いつも一人で仕

事をしてるので、楽しく仕事ができる状況を考えてみた時に、いつも楽しそうに働いているシルバーセンターの人が羨ましく感じて、一度シルバーセンターに話を聞いてみることにしました。

説明会に行き、話を聞いてみると、襖はりをする人がいないとのことで、自営でやっていたので、襖はりをやらせていただくことにしました。

最初の仕事に来て、事務所内の良い環境で仕事をし、余裕も出てくると、仕事が楽しみになってきました。それからは好きなカラオケも歌うようになりました。もつとゆとりが取れるようになり、好きな魚釣りもできる様になつたら楽しいなと思つています。これからもつと仕事を頑張つて行こうと思つています。



〈カラオケ大会にて〉

## 都賀地区

## 人生に思うこと



会員  
小坂 護

平成28年12月にシルバー人材センターに入会させていただき、北部事業所からの要請で

色々と仕事をさせていただき乍ら不安と期待の入り混じった状態で先輩達とのコミュニケーションをとりながら半年が過ぎた頃、突然事業所から広報紙の「生きがい」に載せたいので一筆書いて下さいと依頼がありました。わたしはまだ半年も経たないし、シルバー人材センターの内容も余り把握してないので無理ですと断ったのですが、どうしても書いて下さいとのこと、私は余り断り切れない性分なのでついつい引き受けてしまったのです。何を書いて良いのか解りませんが、今まで生きてきた人生について書いてみました。万物の霊長類である人間はこの

世に生を受けて皆それぞれの運命に左右されながら皆さんも生きてきたと思います。それぞれの人生の疑問を考えると人生とは何ぞや、生きるために働くのか、人生を楽しむために働くのか、皆を幸せにするために働くのか、考えると人生は色々です。皆様はどう思われますか。まずは健康でなければ何も出来ません。健康に感謝です。

さて私の人生は六人兄弟の末っ子で、我々の年代は食べる物も事欠き、衣類は兄のお下がり、色々な面での時代を過ごし、青春時代を経て職業も色々変えて某会社を定年退職しました。その後、マンシヨンの管理人等をして現在に至りました。北島三郎さんの歌った「川」のように、人生山あり谷あり、紆余曲折もあり、私もこの様に生きてきたと、自分自身思っています。人生の成功者でも無く人格者でもありません。この先何があるか解りませんが、人生の流れに逆らわず自然体で渡って行くかと思えます。

私の信念は働ける内は働こう

と思います。そしてシルバー人材の人達と、また関わりの或る人達とたわいない会話、和気あいあいと仕事を一生懸命して、皆から信頼と愛し愛される人間で有りたいと思います。最後にシルバー人材センターに入会したばかりの若輩者ですが、今後ともよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

## 心身の健康を維持



会員  
西村 博光

平成二十七年四月、三女の長女が小学校に入学し、二女が幼稚園の年中組に入園し、孫六人の孫育てが、一段落をしたのを期に、平成二十七年七月八日、栃木市シルバー人材センター都賀支部にて、入会説明会を拝聴し、翌日入会いたしました。

心身健康のため、禁酒十二年、禁煙六年、ウォーキング、一日一万歩、約一時間三十分、約七キロメートルを行う事により、通常の成人男性の体力、知

力、精神力を維持することを目標及び方針として、活動を継続してまいりました。

平成二十七年九月十五日より、先輩、事業者の基、ゴルフバック運搬作業を週三日、一日四時間（十二時より十七時迄）、月十五日、業務につき、一年八ヶ月、心身共に健康な毎日を過ごしております。平成二十九年四月末日迄で勤務を終了し、五月一日、公民館夜間管理、主に部活動使用後の設備、施設管理と各室、ロビー、廊下、施錠及び非常灯の管理を前任者の方に指導していただき、五月十五日の週より隔週月曜日より土曜日迄、午後五時より部活動終了迄平均四時間の勤務をして、無事勤めをはたさせていただいております。これもひとえに先輩、栃木市シルバー人材センターの方々の御陰と感謝しております。

今後ともよろしくお願いたします。





## 大平地区

## シルバー人材センター

## 二度目の入会



会員  
照内 昇

私は今回で二度目の広報に投稿します。平成十九年一月に初めて入会し、仕事の都合で一年足らずで退会しましたが、その時は互助会の一泊二日お座敷列車旅行で感動したことがテーマでした。

二度目の入会は、平成二十五年十月に入会から現在に至っております。当時大変お世話になった諸先輩も退会され、今では数人となりました。

現在大平地区の広報紙を担当し、チラシの折込や配達を行っております。また、小学校の長期休みに、学童保育支援補助なども担当しております。

前述の広報紙の仕事をしておりますと、地域の事がよくわかるようになります。元々地元

でない私には、配達先の地名もわからず不安がありました。今では地元の妻より地理に詳しくなりました。

昨年からの学童保育支援補助の仕事は、子供達の過ごしかたの意外な様子に感心致しました。宿題の勉強から始まり、読書の時間は私語など厳禁、即大声で注意を受けることもありま。おやつ時間が過ぎ自由時間になると周りが一変したように、パズル、絵かき、ブロック遊びと好きなゲームで、夫々自由な時間を過ごしております。時には学童達の相手もします。腕相撲や指相撲、綾取り、カードあるいはブロックを使い空想の世界を作ったり、また将棋の相手もします。中には鉄道の駅名を、始発から終点まで言える生徒もおり、改めて感心しました。

最終日に保育支援の皆さんから、感謝の言葉をいただいた時は、生きがいを感じ仕事の疲れも忘れてしまいます。

## 我が家の宝物アルバムに

## ロマンを求め



会員  
畠山 春男

今思えば会社員になって最初の頃、あこがれの蒸気機関車SLを追い求めて日本で一番高い所にある信州小海線に夜行列車に乗って写真を撮りに行った事がある。

宿の予約もせず、時刻表を手にもリックを背負い「なぜ、そこまでして出かけたのだろうか？」と思う時がある。

生まれ育った故郷、八幡平国立公園の麓である花輪線を黒い煙を吐きながら雄大な姿で走るSLが子供ながら頭のどこかに残っていたから、八ヶ岳高原の風景と消えゆくSLに望郷の思いを重ねていたのかもしれない。

若い頃は、出かける観光地迄の時刻と経路を全て計画して旅行する事しばしば、新婚旅行も京都から山陰本線の有名な観光名所を全て自分で調べて、妻と

二人で行った気がする。

あれから四十数年、我が家の二階の空き部屋と棚のいたる所に、これまでに撮った写真と何十冊というアルバムは、我が家の「宝物」として残っている。

定年退職後、シルバー大学校南校を卒業して、地域の人のつながり、色々な職業の先輩方々と出会い、さらに新鮮な気持ちで第二の人生を謳歌したいと思う中で、シルバー人材センターに入会しました。

まだ働き始めて数ヶ月ですが、頂いた配分金に感謝しながら貯金をして、「時刻表を片手に時間に束縛されないスタイル」で、昔出かけた同じ観光地に妻と二人で再びのロマンを求め、旅行したいものです。



〈健康体操教室〉

西方地区

草刈り



会員 石川 志郎

私が栃木市シルバー人材センターに入会するキツカケは、当時会員の中に身内の方が居りましたので、心強く感じて決心しました。私が入会するのと前後して、体の調子が悪くなり、退会してしまいました。私は幸いにも体が健康です。入会して今年で3年になります。入会当時は会員の半数位しか知ってる方は居りませんが、今では殆んどの方の顔が解る様になりました。作業としては、時期にも依りますが、主に草刈作業を班長さんを中心に数名単位で行う事が多いです。事故が起きないように、特に注意しながらの作業です。

入会して良かった事と言えば、同年代と知り合いになった事、冗談を言いながら話ができ



〈安全パトロール〉

る事、鍋を囲んで一杯やった事、忘年会(新年会)、慰安旅行等々。そして尚、多少の報酬を頂けるといふ事です。今後の課題としては、何とかして入会員を増やす事、仕事を開拓する事、等ではないでしょうか。会員同志お互いに協力し合つて、自分の健康管理に充分留意し、又、作業事故などに合わない様に気を付けて、求められた仕事をやっていく事も、ある意味ではひとつの生甲斐になるのではないのでしょうか。

自分の生きる道



理事 嶋田 安治

私ごとですが、健康には人一倍気を付けております。タバコは止め酒はほどほどにし毎朝ウォーキングとラジオ体操は欠かしません。

還暦を迎え、百名山に挑戦しようと思いつき、栃木県を代表する男体山に初挑戦し無事とは言えないが、登頂に成功しまし



〈男体山にて〉

た。眼下に見下ろす中禅寺湖と雲海を見て何とも言えない達成感がありました。欲が出て、次は日の本一の富士山しかないと一昨年シーズン終了間際、静岡県須走口から登頂を試みましたが、準備不足と経験不足で高山病になり六合目ちよいで、リタイヤとなつてしまいました。同年筑波山は登頂できました。

昨年は経験を生かし山小屋に泊まり挑戦したが悪天候により七合目ちよいで、止む無くりタイヤとなつてしまいました。

今年は無駄なくコツコツと八合目を目指し、百名山達成の一步としたいと思います。



「事故防止・急ぐな  
あせるな・気を抜くな」

(全国統一スローガン)

## 岩舟地区

## 仲間と趣味と



会員  
須藤 務

たまたま害虫駆除の仕事の依頼をシルバーセンターに行った折、その場で入会を勧められた。その場で入会をお願いしました。

一日の作業時間六時間は体に合っており、毎日緊張しつつ皆さんと長く楽しくやってもらっています。

趣味はいくつかありますが、お囃子をやっており、円仁お囃子会の会員です。太鼓を打った時の気持ちは晴れします。

鉦でリズムを合わせ、完璧に出来た時の満足感は自分でしか味わえないことです。

鉄道も趣味です。五十年のキャリアを生かして、SLから切符集め、JR北海道・東日本・私鉄等の路線駅舎の駅名入り写真、ホームの駅名、看板等



〈趣味の鉄道、稚内駅にて〉

約三千枚位の写真を撮りました。

先日、本部より会員登録十年との事で、はからずも表彰を受けました。緊張の中にも、お受け出来たことは、皆様のおかげと思います。

これからも元気で、お役に立ちたいと思います。



〈フォークダンス講習会〉

## よろこび



会員  
中山 彦三

人並みの会社勤めを終えシルバー人材センターへ入会して一年半が過ぎました。退職間際には多くの先輩と交流する機会を得、そこでの話題は決まって年金・健康・余暇の過ごし方等で、大半の先輩が何らかの仕事に就いていることです。ある先輩はゴルフ好きでゴルフ場へ、また、ある先輩は技術職で子会社へのアドバイザーとして、また、野菜を作って直売場へと皆それぞれ自分にあつたライフスタイルを見つけていました。

さて、私もとにかく体育系で体を動かす事が好きで、機械の分解・修理・組立、植木の手入れ等特技を生かしつつ実益を求めシルバー人材センターを訪ねました。センターからは就業者人員が不足している「植木の手入れ」を勧められ現在に至っています。植木の手入れには基本的知識と技能が要求されます



〈渡良瀬遊水地ボランティア〉

が、人それぞれ感性が違うように見方・出来栄にも多少の差が出来ます。しかし暑さ寒さの厳しい屋外作業、様々な現場環境、会員の年齢差等を乗り越えて庭の片隅で広げる昼の手弁当。皆で協力して手入れの終わった植木を見上げ「さっぱりした」「きれいになった」「風通しが良く植木が喜んでいるよ」・・・等々、お客さんから言葉を頂くと一日の疲れも癒され、よろこびと明日への活力が湧き上がります。

これからも会員の皆さんと一緒に一日でも長く健康に留意し仕事に励んで行きたいと思っております。

**統計速報** 平成29年度事業実績(H29年4月~H29年6月)

(金額単位:円)

区 分	受注件数	就業人数		契約金額				
		実人員	延日人員	配分金	材料費等他	事務費	計	
公共事業	430	/	2,681	25,466,340	2,393,286	2,531,208	30,390,834	
民間事業	企業等		878	15,120	64,227,279	2,943,892	6,411,331	73,582,502
	家庭		1,668	5,964	25,613,787	4,791,455	2,561,027	32,966,269
	独自事業		3	15	47,200	1,100	1,500	49,800
	小計		2,549	21,099	89,888,266	7,736,447	8,973,858	106,598,571
合計	2,979	761	27,380	115,354,606	10,129,733	11,505,066	136,989,405	
前年実績	2,992	729	14,508	111,097,580	10,397,200	11,091,014	132,585,794	
増減	-13	32	867	4,257,026	-267,467	414,052	4,403,611	
増減率	-0.4%	4.4%	3.3%	3.8%	-2.6%	3.7%	3.3%	
公共事業増減率	21.1%	/	11.7%	8.6%	-4.7%	8.4%	7.4%	
民間事業増減率	-3.3%	/	1.0%	2.6%	-1.9%	2.5%	2.2%	

**事故速報** (H29年度4月~6月)

平成29年度4月~6月累計	傷害・賠償 件数	内 訳				平成27年度同期累計					
		事故の程度		性別		傷害 賠償	計	事故の程度		性別	
		入院	通院	男性	女性			入院	通院	男性	女性
傷害	3	0	3	3	0	傷害	2	0	2	2	0
賠償	8	0	0	8	0	賠償	2	0	0	2	0
計	11	0	3	11	0	計	4	0	2	4	0

**事業所別会員数**

H29年6月末現在

栃木			藤岡			都賀			大平			西方			岩舟			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
203	76	279	103	31	134	84	52	136	100	29	129	34	18	52	90	23	113	614	229	843



広報委員長  
佐藤 銀次郎

今回から編集委員が代わりました。浅学菲才な私ですがよろしく願いました。浅学菲才(追伸)来年のことを言うと鬼が笑うと言われるかもしれませんが、次号のための執筆のご協力をお願い致します。書いていただいた方には粗品の進呈を検討しております。

各図書館には熟年用に大活字本がたくさん用意されている。それらは歴史的分野のものが多く、私はこれらの本をいつも5冊ほど積んでおき、猛暑や、雨で畑仕事ができない時、ランダムに引き抜き暇つぶしをしている。昨年読んだ杉本章子「写楽まぼろし」、古川薫「高杉晋作」が強く印象に残っている。好きな作家は何といっても司馬遼太郎。5月に「最後の將軍」「王城の護衛者」「街道をゆく」白河・会津のみち」を読んだ。二連の作品は、幕末期の騒乱から戊辰戦争の惨劇や、新政府の非道(会津藩ぐるみを下北半島の火山灰地へ移封)を「時代の精神の腐った部分であった」といつていい」と舌鋒鋭く語っている。

平成二十九年七月二十九日第二五七回芥川賞は沼田信佑さん「影裏」、直木賞は佐藤正午さん「月の満ち欠け」が選ばれた。私は早速図書館へ行き「影裏」の購読予約をした。私はいくつか作品を読むのが好きだが、字が小さいので目が疲れる。

**編集後記**